



◆帯グラフと円グラフのかき方

下の表は、けがの^{しゅるい}種類別の割合を表したものです。

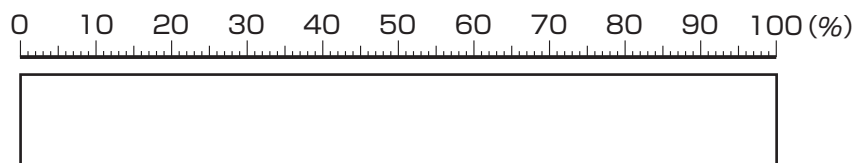
けがの^{しゅるい}種類と割合

^{しゅるい} 種類	すりきず	打ぼく	切りきず	ねんざ	その他	合計
^{けん} 件数 (件)	104	65	39	31	21	260
^{わりあい} 割合 (%)						

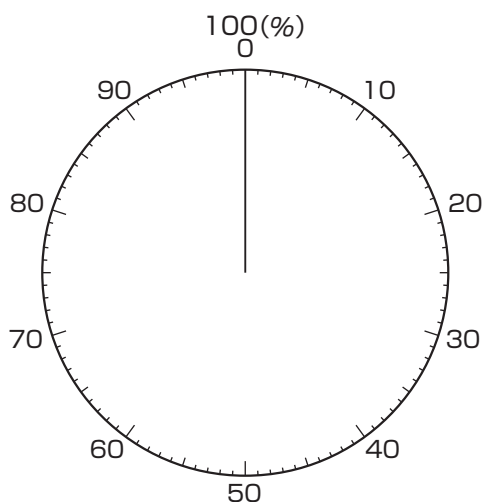
① それぞれの割合を百分率で求めて、上の表に書きましょう。百分率は四捨五入して、整数で表しましょう。

② それぞれの割合を、下の^{わりあい}帯グラフと^{おび}円グラフに表しましょう。

けがの^{しゅるい}種類と割合 (合計 260 件)



けがの^{しゅるい}種類と割合 (合計 260 件)



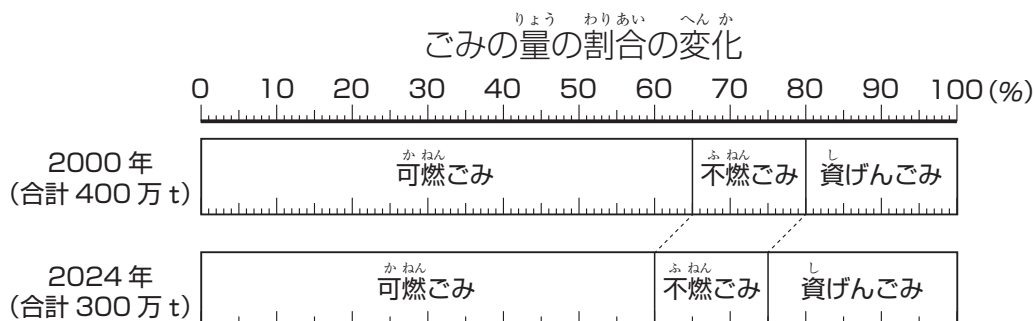
^{わりあい}割合の大きい順に、^{じゅん}右回りに区切って
いけばいいね。

③ 小さい 1 めもりは、 %を表しています。

④ すりきずと打ぼくの^{けん}件数を合わせると、全体の約 です。



下の表は、ある地いきのごみの量を種類別に表したものです。



- ① 2000 年、2024 年の資げんごみの割合は、それぞれ何%でしょうか。

2000 年 % 2024 年 %

- ② 2000 年、2024 年の資げんごみの量は何万 t でしょうか。

〈2000 年〉 = (万 t)

〈2024 年〉 = (万 t)

- ③ けんさんは、グラフを見て、下のように話しています。

けんさんの話は正しいといえるでしょうか。

理由も説明しましょう。

2000年に比べて、2024年の
資げんごみの量は増えているね。



けん

正しいと 。

理由は、

資げんごみの は、 %から %に増えているが、

全体のごみの量が減っているため、

資げんごみの は 万 t から 万 t に減っているから。